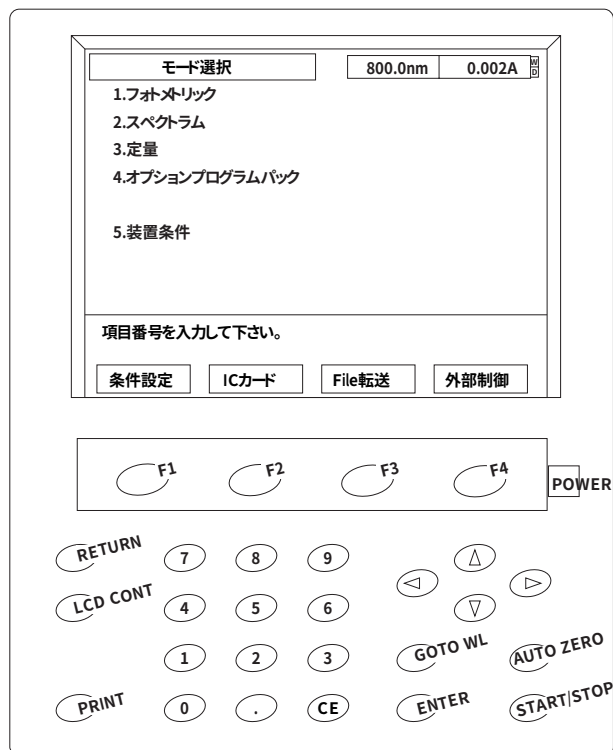


■紫外可視分光光度計

1-5366-01

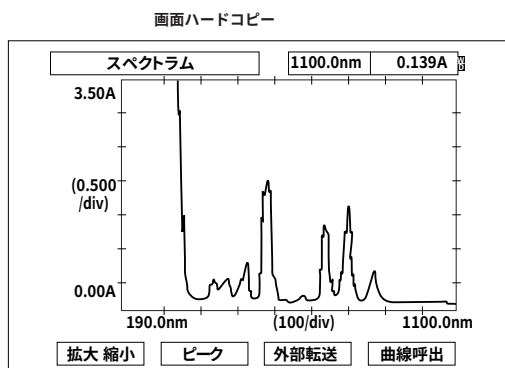
■基本的な機能



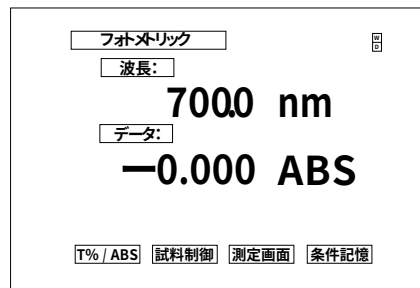
〈条件設定〉
内部メモリまたはデータバックに記された条件を呼び出す時に押します。
〈ICカード〉
データプログラム管理機能呼び出します。
〈File転送〉
オプションのPCソフトウェアを使ってデータファイル等をPCへ転送することができます。
〈外部制御〉
外部コンピュータにより分光光度計を制御するときを押します。

＜プリンタ出力＞

スペクトラムのプリンタへの印字は画面ハードコピーとプロット出力の2通りが選べます。

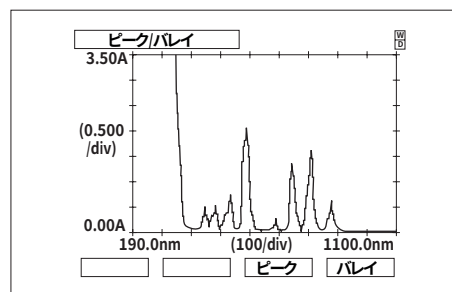


＜フォトメトリック＞



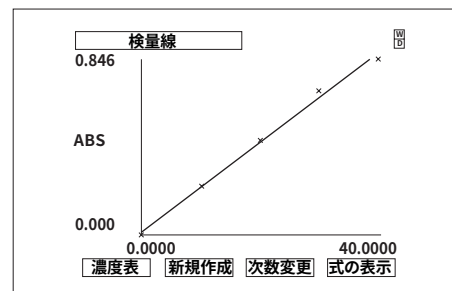
固定波長での吸光度/透過率を測定します。Kファクタ法(係数入力)による定量も可能です。プリンタへのデータの自動印字や、RS-232Cポートへの自動出力機能があります。オプションのマルチセル試料室やセルポジションを使用すれば、6つの試料の連続運転が可能です。

＜スペクトラム＞



このクラス初のスペクトラム測定標準装置。波長スキャンをおこない、試料のスペクトラムを記録します。くり返しスキャンによって試料の変化を追跡することもできます。得られたスペクトルの拡大/縮小、ピーク検出などのデータ処理がおこなえます。

＜定量＞



標準試料から検量線を作成して未知試料の濃度を算出します。波長数は1から3波長が選べます。検量線もKファクタだけではなく、1次から3次の回帰検量線が選択できます。

プロット出力

